



ニューロン酸感受性外向整流性アニオンチャネル (ASOR) のアシドーシス性脳神経細胞障害に対する低温救済への関与

日本学術振興会特別研究員 (RPD)
福岡大学医学部生理学講座

佐藤(沼田) かお理

(第66回西日本生理学会 日本生理学会九州奨励賞
(平成27年度) 受賞)

この度、平成27年10月9～10日に福岡の久留米大学で開催されました第66回西日本生理学会において、『ニューロン酸感受性外向整流性アニオンチャネル (ASOR) のアシドーシス性脳神経細胞障害に対する低温救済への関与』という演題に対し、幸運にも日本生理学会九州奨励賞を賜りました。今回の受賞において、私が学部学生の頃から継続して行っておりますイオンチャネルの研究を評価していただいたということにとっても光栄であり、感謝しております。

私は、これまで一貫してイオンチャネルの生理的役割について研究を進めております。生理学研究所の岡田 泰伸 先生 (現 総研大 学長) の研究室に大学院生として参加させていただいた当時、研究室の先輩方が論文にまとめていた、酸で活性化するアニオンチャネル (acid-sensitive outwardly rectifying anion channel: ASOR) にとても興味を持ちました。それ以来、私の研究のメインテーマであるラットパソプレシンニューロンにおける研究と並行して、ASORの生理的役割における研究を続けてきました。ASORは、酸で活性化すると細胞のネクローシス性細胞死を誘導する『死』のイオンチャネルと現在は捉えられがちですが、

実際のところ、薬理的な性質や分子実体そのものがまだ解明されていない、謎の多いイオンチャネルです。私は、ASORにおけるその『謎』を1つ1つ解き明かし、生物が生きるために重要な役割をも担っていることを将来的に明らかにしていきたいと思っております。最後になりましたが、ご指導賜りました岡田 泰伸 先生、井上 隆司 先生、一緒に研究を行いました沼田 朋大 博士、そして、イオンチャネルの研究を通してご指導・ご支援をいただきました多くの方々にも心より感謝いたします。

略歴

平成18年3月 東京学芸大学 教育学部 卒業
平成23年3月 総合研究大学院大学 生命科学研究所 5年一貫博士課程 卒業
平成23年4月 生理学研究所 NIPS リサーチフェロー
平成26年8月 生理学研究所 研究員
平成27年4月 日本学術振興会 特別研究員 (RPD)
(所属：福岡大学 医学部 生理学講座)